

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健統計学Ⅱ	NSF44_001	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
藤井 充	306	mitsuru.fujii	水曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	人間集団や地域の健康課題に対して、その要因を見出し、健康問題解決へと繋げるために必要な保健統計学の理解を深める。また、公衆衛生看護の実践に不可欠なツールとして、単変量解析の考え方やスキルを身につける。リスク要因から予防までを扱う保健統計学について総合的に学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	この授業では「保健統計学Ⅰ」で学んだ基本的知識が必要となるため、しっかり復習しておくこと。分からない点があった場合、早急に担当教員に質問し課題を解決すること。				
教科書	ていねいな保健統計学 第2版 / 著:白戸亮吉, 鈴木研太/ 羊土社 / 2022				
参考書	国民衛生の動向2026/2027/ 厚生労働統計協会				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公衆衛生看護の実践に必要な保健統計学の基礎的知識を身につけている。		HSU (2)		
②	公衆衛生看護の実践に必要な保健統計学の基礎的技術を身につけている。		NS (2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目のオリエンテーション 【データの種類とまとめ方】 データの種類と代表値について学修する。 表と図の利用について学修する。	講義・演習	教科書第1章を予復習する。	4	
2	【2種類のデータの関係性】 相関、回帰について学修する。	講義・演習	教科書第2章を予復習する。	4	
3	【検定の基礎①】 推定と検定について学修する。	講義・演習	教科書第3章を予復習する。	4	
4	【検定の基礎②】 t 検定について学修する。	講義・演習	教科書第3章を予復習する。	4	
5	【検定の応用】 順序があるデータの検定、分類されたデータの検定について学修する。	講義・演習	教科書第4章を予復習する。	4	
6	【人口統計】 人口静態、人口動態について学修する。	講義・演習	教科書第5章を予復習する。	4	
7	【保健統計調査】 基礎的な統計調査や医療経済統計等について学修する。	講義・演習	教科書第6章を予復習する。	4	
8	【まとめ】 これまでのまとめを、保健師国家試験の過去問題を解くことで行う。	講義・演習	教科書の各章のポイントを予復習する。	4	
試	定期試験、達成度評価・評価のポイント参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/健康支援と社会保障】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	20	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	筆記試験 (計算問題を含む) の正答率で評価				試験採点后、正答率が悪い問題についての解説をメールで配信
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①	✓	毎回の講義の前に出すオンラインでの自宅課題及び講義の際に課す課題の提出状況を評価 講義の出席状況・出席態度を評価				課題についての説明解説
	②	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	公衆衛生医師として、厚生労働省、保健所等に40年間勤務						
実践的授業の内容	保健所での経験をもとに、看護職として現場で経験する可能性があることを取り上げ、理解を深める。						
その他	学習内容は、講義の進行度によって前後する可能性がある。						